

「りんくうタウンのさらなる活性化に向けたまちづくり戦略プラン」に基づく取組状況と今後のまちづくりについて

タウン推進局では、平成 23 年度末における地域整備事業会計の廃止を機に、民間のアイデアと活力を活かした新たなまちづくりを目指し、平成 24 年 3 月、「りんくうタウンのさらなる活性化に向けたまちづくり戦略プラン」を策定し、まちの活性化のために掲げた各事業を進めるとともに、企業の誘致活動に取り組んできました。

これらの取組により、りんくうタウンの中心となる商業業務ゾーンの契約率は 100%となり、本プランにおいて目標としておりました、未契約地を解消させる企業誘致の取組の平成 27 年度完了を達成することができました。このたび、本戦略プラン策定時からこれまでの各事業の取組状況を公表いたします。

なお、本戦略プランに掲げる事項については、次の「まちの活性化方針の状況」のとおり、一定の道筋がついたことから、今後は、各事業は個別に取り組むこととし、その進捗については、それぞれ公表するとともに、引き続き、りんくうタウンのさらなる活性化に向けたまちづくりを進めてまいります。

■まちの活性化方針の状況

戦略プラン策定時 (平成 24 年 3 月)	これまでの取組	プラン終了時における取組の成果 (平成 28 年 3 月)
<p>1 国際医療交流の拠点づくり りんくうタウンが、関西国際空港の対岸という立地特性と、医療や観光の地域資源を最大限に活かして、国際医療交流を推進するとともに、より幅広い観光インバウンド（訪日外国人旅行）を促進するための環境を整備します。</p>	<p>「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区計画（平成 24 年 3 月 9 日認定） 平成 23～27 年度（第 1 期） 国際医療交流の拠点づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高度がん医療拠点づくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ・国内外のがん患者向けに様々な治療法や健康づくりをサポートする予防医療を提供 ・国際医療人材の交流 2) 高度獣医療の拠点づくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ・国内外のペット診療の受入れ ・国際学術医療交流 3) 健康や医療目的の訪日観光促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスツアーなどによる外国旅客の呼び込み 4) 国際医療サポートセンター事業 <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い医療通訳の育成など外国人診療機能の充実 5) ホスピタリティ・地域の魅力向上事業 <ul style="list-style-type: none"> ・日本体験・交流ツアーの企画、多言語対応の充実（泉佐野市域限定通訳案内士（特区ガイド）の育成、観光案内所（りんくう／関空まち処）の設置など） <p>○平成 24 年度 総合特区計画の変更認定を受けた事業の事業化に向け、大阪府は、引き続き国や特区事業者等との協議を実施しました。</p> <p>○平成 25 年度 特区に定める高度がん医療拠点施設の整備に向け、大阪府が事業予定地を分譲しました。</p> <p>○平成 26 年度 国際医療交流拠点となる高度がん医療拠点施設の立地整備の支援等、同地域における拠点づくりを着実に推進しました。 9 月 大阪府が高度がん医療拠点施設整備に対する補助金の交付を決定しました。 3 月 特区事業者が高度がん医療拠点施設の建設に着手しました。</p> <p>○平成 27 年度 大阪府が高度がん医療拠点施設整備に対する補助金の一部を交付するなど、国際医療交流の拠点づくりを着実に推進しました。（補助金は、3 ヶ年で交付します。）</p>	<p>特区事業者が建設に着手した海外のがん患者の受入れや、外国人医師との交流の拡充を図る、高度がん医療拠点施設である「メディカルりんくうポート」が、平成 28 年 10 月 1 日にオープンすることとなりました。これにより、りんくうタウンにおける、国際医療交流の拠点機能が整うこととなります。</p> <p style="text-align: center;">地域活性化総合特区制度に基づく取組みの状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高度がん医療拠点づくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「メディカルりんくうポート」による国内外がん患者の受入れや外国人医師との交流が促進されます。 2) 高度獣医療の拠点づくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府立大学獣医臨床センターによる海外からのペット受入れ、海外の大学との共同研究が行われています。 3) 健康や医療目的の訪日観光促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・泉佐野市、特区事業者、観光事業者等とともに、ヘルスツアーなどの取組方策について、検討を進めています。 4) 国際医療サポートセンター <ul style="list-style-type: none"> ・りんくう総合医療センター国際診療科において、外国人患者への医療通訳が配置されています。また、その育成にも取り組まれています。 5) ホスピタリティ・地域の魅力向上事業 <ul style="list-style-type: none"> ・泉佐野市において、観光交流プラザ「りんくう／関空 まち処」が観光等の情報発信と外国人旅行者との交流の拠点となっています。また、地域限定通訳案内士（特区ガイド）の養成にも取り組まれています。

※ 国際医療交流の拠点づくりについての現在の取組みは、[こちらの「りんくうタウン・泉佐野市域における国際医療交流」のページ](#)に掲載しています。

戦略プラン策定時 (平成 24 年 3 月)	これまでの取組	プラン終了時における取組の成果 (平成 28 年 3 月)
<p>2 クールジャパンフロントのまちづくり りんくうタウンが、関西国際空港の対岸という立地特性を最大限活かし、民間が主体的にアニメやゲーム等関連の実物大ジオラマ（立体模型）の製作・設置、展示・販売施設の建設を行い、国内外からの観光集客の拠点を形成します。</p>	<p>○平成 23 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 「りんくうタウン活性化」企画推進・コンサルティング業務パートナー事業者選定企画提案」の募集を開始しました。 →りんくうタウン活性化の推進のための戦略を構築し、府と共に、事業メニューの企画提案、具体化に向けたコーディネート役を担う事業者を募集しました。 応募のあった企画の中から「クールジャパンフロント」をりんくうタウン活性化のトータルコンセプトとする提案を最優秀作品に決定しました。 クールジャパンフロントのまちづくりの構想を進めるため、最優秀作品の提案者と共に、企業へのヒアリングやマーケティングリサーチ等に取り組み、企業に対して事業への参画の働きかけを実施しました。 <p>○平成 24 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> クールジャパンフロントのまちづくり応援団を結成しました。 ヒアリングを実施する企業の対象範囲を広げて、ヒアリングに取り組むとともにクールジャパンフロントのまちづくり事業への参画の働きかけを実施しました。 <p>○平成 25 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで訪問した企業に対して、改めてヒアリングを実施するとともに、さまざまな業種の企業へ土地の貸付条件等の情報提供や事業への参画の働きかけを実施しました。 <p>○平成 26 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 5 月 クールジャパンフロントのまちづくり開発運営事業者の募集を開始しました。 10 月 開発運営事業者の募集を受け付けましたが応募はありませんでした。 	<p>クールジャパンフロントのまちづくりの開発運営事業者を公募しましたが応募はありませんでした。この結果を受け、企業へのヒアリング等による検証を実施しました。</p> <p>検証の結果、事業期間が短く、投資の回収が困難であり、ビジネススキームの構築が難しかったことが、応募がなかった要因と考え、クールジャパンをテーマとするまちづくりの公募事業については、平成 27 年 3 月をもって、とりやめることとしました。</p>
<p>3 公園・緑地予定地の活用 りんくうタウンの活性化にとって残された貴重な空間であるりんくう公園・緑地予定地については、整備検討を進めるとともに、予定地を活用したにぎわいづくりについても地元市町のまちづくり施策と連携した取り組みの検討など、内外より人々が集まるような方策の実現に向けて地元市町と協議を進める。</p>	<p>○平成 25 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> りんくう公園の計画全体のあり方を検討するために平成 24 年度に発足した、りんくうタウン活性化連絡会（府、地元市町）において、りんくうタウンの活性化及び公園整備の今後の進め方について、方針を確認しました。 <p>○平成 26 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 進出希望のある企業に対して継続的にヒアリングを実施しました。 泉南市域については早期の公園整備に向け、関係者で覚書を締結しました。 <p>○平成 27 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 進出希望のある企業に対して継続的にヒアリングを実施するとともに、公園予定地の活用条件を整理しました。 泉南市域については早期の公園整備に向けて関係者間の役割分担やスケジュール等を整理しました。 	<p>平成 25 年度に定めた「民間活力による暫定利用等を行うことでりんくうタウンの活性化を図る」基本方針に基づき、地元市町と協議を進めています。</p> <p>* 泉佐野市域</p> <ul style="list-style-type: none"> 泉佐野市が事業主体となり、スケートリンクを核とした豊かな緑と賑わいあふれる公園的空間のまちづくりの計画を策定し、平成 28 年 1 月には、スケートリンク事業の開発運営事業者の募集を実施しました。 <p>* 泉南市域</p> <ul style="list-style-type: none"> 泉南市が市営公園化等を早期に実現するため、官民連携による事業スキームを検討しています。

※ 公園・緑地予定地の活用についての現在の取組みは、[こちらの「りんくうタウンの土地利用に関する検討」のページ](#)に掲載しています。